



さけがわ

議会だより



鮭川小学校入学式 4月8日(火)

2p 今年度もがんばります。／功労表彰おめでとうございます。

3p 27議案可決・3月定例会

4p 平成25年度 一般会計・特別会計補正予算

5p 平成26年度 予算を可決

6p 一般質問 村政に問う

14p 閉会中の所管事務調査報告

16p 議会の動き・あとかぎ

VOL 112

平成26年5月1日

今年度もがんばります。

平成26年度の予算も決まり、新年度がスタートしたわけですが、消費税の引き上げなど、私たちの生活環境はますます厳しいものとなっております。

このような中であって、村議会として村民からの期待に応えられるよう、今後も住みやすい村づくりのために議員一致団結して行動してまいります。

議員 遠田 伯保



議員 水戸 一徳



議員 梅津 秀雄



議長 矢口 秀資



議員 土田 太



議員 矢口 健二



議員 横山 小一郎



副議長 荒木 京子



議員 荒木 三智郎



議員 丸山 重幸



新事務局長 姉崎 秀隆



おめでとうござります。



横山 小一郎
議員がこの度、山形県町村議長会表彰を受けられました。これは、町村議会議員として通算11年以上在職し、地方自治の発展に功労があったと認められる方を表彰するものです。
3月議会定例会の初日、議会開会前に議場において表彰状の授与がありました。
これからも村の発展のため、ご活躍を期待します。

経歴

- H11年12月 第1回当選
○総務常任委員会副委員長
- H15年12月 第2回当選
○副議長
○総務常任委員会委員
- H19年12月 第3回当選
○議長
○山形県町村議会議長
○最上地方町村議会議長
- H23年12月 第4回当選
○議会選出監査委員
○産業厚生常任委員
○総務文教常任委員
- 最上広域市町村圏事務組合議員
- 最上地方広域連合議会議員
- 同議会 副議長、監査委員
- 産業文教常任委員・総務厚生常任委員

3月例会 定例

平成26年第1回鮭川村議会3月定例会が3月7日から13日までの7日間の会期で開催されました。条例の設定及び改正議案など村長提出議案25件、議員発議等3件が慎重審議され、請願を継続審査とした他、議案27件を可決しました。また、一般質問は、6人が登壇し村政を正しました。

議案審議

鮭川ふるさと応援基金条例の設定について

未来を創造した村づくりを展開していくことを目的に鮭川村を応援する方々の想いを「かたち」にし有効活用を図るため、ふるさと納税寄付金を財源とした「ふるさと応援基金」を創設しその管理方法等について定めたものです。

鮭川村中央公民館大規模改修基金条例の設定について

鮭川村中央公民館の長寿命化対策を講ずるため、大規模改修をする経費の一部として「地域の元氣臨時交付金」を財源とした「中央公民館大規模改修基金」

を創設しその管理方法等について定めたものです。

鮭川村課設置条例の一部を改正する条例の制定について

行政組織の見直しと行政事務の効率化を図るため総務課の事務分掌である「国民保護に関する事項」を住民税務課の事務分掌に、「交流の推進に関する事項」を産業振興課の事務分掌に変更する改正をしたものです。

鮭川村税条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法の改正に伴い、年金所得に係る仮特別徴収額の算定方法の見直し及び上場株式等に係る譲渡所得等の分離課税の新設等が盛り込まれたため村の税

条例についても一部改正したものです。

鮭川村防災会議条例の一部を改正する条例の制定について

災害対策基本法の改正により、地方公共団体の長の諮問に依りて防災に関する重要事項を審議することなどが防災会議の所掌事務に追加されたことから村の防災会議条例についても改正したものです。

鮭川村災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について

災害対策基本法の改正により、災害対策本部条例の関係する条文の文言を一部改正したものです。

鮭川村災害弔慰金の支給に関する条例の制定について

災害弔慰金の支給等に関する法律の改正により、災害弔慰金の支給対象となる遺族の範囲が拡大され、死亡した者の死亡当時における兄弟姉妹が追加されたことに伴い、村の災害弔慰金の支給に関する条例の一部を改正したものです。

鮭川村簡易水道事業設置条例の一部を改正する条例の制定並びに鮭川村水道給水条例の一部を改正する条例の制定について

現在の4簡易水道施設(鮭川・曲川・芦沢・牛潜)と木の根坂飲料供給施設を統合して名称を「鮭川簡易水道」に改め、今後も安定した水道事業を運営するため、簡易水道事業設置条例及び水道給水条例を一部改正したものです。

一般会計補正予算

6,028万8千円を追加し予算総額を35億7,954万2千円とした。

主な補正内容は、財政調整基金、中央公民館大規模改修基金等への積立金及び各課の事業完了に伴う事業費の精査による減額

国民健康保険特別会計補正予算

16万円を追加し、予算総額を2.6万円とした。補正内容は、国民健康保険給付基金への積立金

簡易水道事業特別会計補正予算

62万2千円を減額し、予算総額を1億5,657万9千円とした。

主な補正内容は、簡易水道施設等の維持管理費の精査により減額

農業集落排水事業特別会計補正予算

86万7千円を追加し、予算総額を1億1,065万8千円とした。

主な補正内容は、事業完了見込みに伴う事業費精査による減額及び基金への積立金を増額

介護保険特別会計補正予算

568万3千円を減額し、予算総額を5億4,556万円とした。

主な補正内容は、介護サービス費及び介護予防サービス費の実績見込みに伴う減額

後期高齢者医療特別会計補正予算

30万5千円を追加し、予算総額を2,377万8千円とした。

主な補正内容は、後期高齢者医療広域連合納付金及び一般会計への事務費繰り戻し金を追加

鮭川村老人いこいの家の指定管理者の指定について

村の老人いこいの家の指定管理者として次のとおり指定した。

指定管理者の名称

社会福祉法人鮭川社会福祉協議会

会長 矢口 誠美

指定の期間

平成26年4月1日から

平成31年3月31日までの5年間

鮭川村ふれあいスポーツセンター太陽館の指定管理者の指定について

村のふれあいスポーツセンター「太陽館」の指定管理者として次のとおり指定した。

指定管理者の名称

社会福祉法人鮭川社会福祉協議会

会長 矢口 誠美

指定の期間

平成26年4月1日から

平成31年3月31日までの5年間

この度の指定管理者の指定2件について、過去の施設管理状況の実績を勘案して随意契約により引き続き指定管理者として決定したものです。

固定資産評価審査委員会の選任に同意

固定資産評価審査委員会委員の高橋寛明氏（京塚）が平成26年4月10日で任期満了となることに伴い、後任として新たに松井昌一氏（石名坂）を固定資産評価審査委員会委員に選任することに同意した。

平成26年度 予算を可決



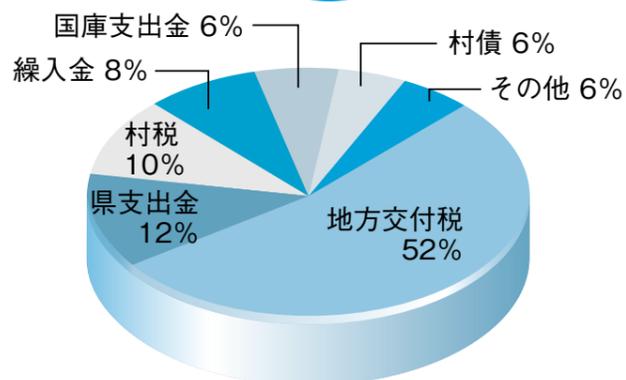
予算特別委員会委員長に水戸一徳議員を選出

平成26年度予算は、特別委員会を設置し、慎重に審査した結果、すべての予算を可決しました。

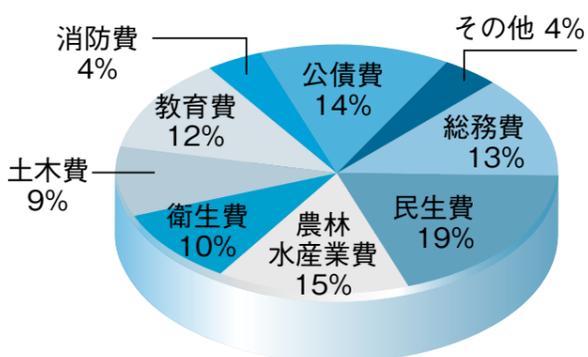
一般会計予算 31億8,000万円

前年度対比 4,000万円 (1.3%)の増

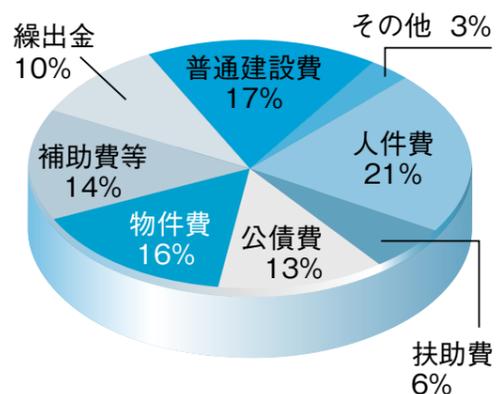
歳入



歳出 (目的別)



歳出 (性質別)



特別会計予算

国民健康保険特別会計	10万円
簡易水道事業特別会計	3億9,310万円
農業集落排水事業特別会計	1億1,280万円
介護保険特別会計	5億5,220万円
後期高齢者医療特別会計	2,420万円

一般質問



村政に問う

子供向けの屋外施設整備について



荒木京子 議員

議員 現在の子供たちは、テレビやゲームなど家の中で遊ぶことがとても多いと思います。

外で元気に遊ぶことは、新しい友達をたくさん作り、健康的にのびのびと自由な遊びを通して、ふれあい、好奇心、冒険心を育てる大事なことだと思います。また、転んだり、手足をすりむいたりすることも「遊

びながら学ぶ」という勉強になるのではないのでしょうか。

12月議会定例会の全員協議会において、子供たちの屋外施設について「鮭川なりにできる施設を検討する」「ある程度意見を伺いながら進めていく」との前向きな答えがあったが、その後の進捗状況はどうなっているか。

村長

平成27年度からスタートする「こども子育て支援計画」の策定の前段として実施した実態調査によれば、遊び場所を自宅とした数は8割程度になっており、今後「子育て検討会（仮称）」の中で要因を含め分析し議論を進めていきたい。

併せて子供たちが遊べる屋外施設整備に関しても具体的な議論をしていきたいと考えています。また、子育て支援に関しては重要な施策のひとつでもありますので今後とも子育てし易い環境整備の推進に積極的に取り組んでいきます。

議員

今、子育てするなら鮭川村といわれるように、積極的に取り組んでいくとの答弁でありますので、是非子育て検討会を立ち上げて実現していただきたい。



ホームページを活用した情報発信について



荒木三智郎 議員

議員 本村では、現在「広報さけがわ」そして「ホームページ」で村の情報を発信しています。

しかし、広報誌のお知らせ伝言板や行事予定は、基本的に月1回の発行であり、今の情報化時代に、月1回の広報誌ではタイムリーな情報の発信は、難しいと思います。

現在の情報化時代に対応するには、ホームページをもっと活用し、防災情報や観光情報など、タイムリーに日々迅速に伝えていくべきだと思います。

今後のホームページの活用について、考えを聞きたい。

村長

村のホームページには、村の案内や出来事、予定など多くの情報をその都度掲載しておりますが、情報のタイムリー性の面では十分に至っていないと考えています。

情報の媒体は数多くあり、紙媒体はこれからも必要な機能であると考えますがネット、ホームページを有効的に活用することで鮭川村の知名度を上げ、鮭川村に

来てもらう力強い窓口になると考えますので、村の情報を更新していくための態勢について現在検討しているところであります。ネットやホームページは情報発信の最大の武器とも考えていますので観光情報はもちろん村の自然環境や村の福祉、村の魅力などを総合的かつ迅速に発信して鮭川村をより多くの方から興味を持っていただき、来ていただけるようホームページの運営に努めてまいります。

議員

私なりのホームページの考えを述べればやはり単発的なものではなく、鮭川の四季を通してシリーズ化したものを写真と混ぜた旬な村の様子をリアルに伝えていく、更新を繰り返していくことがリーダーが生まれる一番の強いつながりかと思っています。これらがふるさと納税へと繋がっていくものと思っています。

これらに携わる専任の職員が必要では思いますがその点はどう感じているのか。

村長

村を売り出すひとつとして、マスクミ、新聞などを通して鮭川村という名前を知っていただくことだと思います。それによってもう少し詳しく調べようかとなればホームページにアクセスして見



一般質問



村政に問う

られるということだと思
います。

そういうことからすれば、
四季の移り変わりなど常に
タイムリーに出していくこ
とが大事だと思っています。
専門性を持って更新してい
ける職員の養成も大事だと
考えますのでいろいろ勉強
しながら進めていきたい。

議員

今年はデスティネ
ーションキャン
ペーンの間でもありますの
で、便乗した形で鮭川村に
一人でも多くの誘客あるい
は、興味を持ってくれる人
が増えればホームページの
リニューアルする意味があ
るのでないかと思えます。
今が一番のチャンスである
と思いますので、正確な情
報を分かり易くリアルタイ
ムに提供していただきこ
とを期待します。

議員

従来から行ってい
る各種イベントに
村制60周年記念事業の冠を
つけてグレードアップして
行うということですが、少
しインパクトが足りない
と思えます。
50周年の記念事業から10年
間経つ訳でありますので、
この10年間で村づくり
のためにがんばった個人、
団体も数多くあると思いま
す。10年に1度くらいは特
別表彰をすべきと思うが考
えはないか。
また、きのこ祭り15回、鮭
まつり30回ということとせ
つかつくの節目なので合併し
て、歴代の村長として記憶
に残るような事業を展開し
ていただきたい。

村長

合併以来、10年と
か30年、50年と言
うのが大きな節目だとい
ふふうに思います。それから

村政60周年記念事業について



矢口 健二 議員

議員

昭和29年12月1日
三村が合併し、今
年度は60周年を迎えます。
このことは、多くの村民の
努力と協力があつて成し得
るものであると考えます。
過去の記念事業を振り返つ
てみると昭和59年の合併30
周年記念、平成6年の合併
40周年記念、平成16年の合
併50周年の際には記念式典
のほかにシンポジウムや
講演会、特別表彰などを行
つています。60周年の節目
に当たる今年はどうのよう
な記念事業を計画している
か。

村長

新生「鮭川村」が
誕生して以来、村
民の団結を養い、幸せを求
め、数々の課題を克服しな
がら並々ならない努力と苦
労の積み重ねにより、現在
の「鮭川村」の礎を築き上
げ60年の歳月が流れました。
今を生きる私たちは、これ
まで多くの村民の皆様方が
培ってきた鮭川村の財産を
新たな視点も含め次の時代
にきちんと引き継いでいく
責任があると思つていま
す。60周年記念事業の計画であ
りますが、平成26年度は山
形デスティネーションキャ
ンペーンが行われる年でも

高齢者や身体障がい者世帯への 燃料費助成の継続について



水戸 一徳 議員

議員

10年経っていますのでこの
10年間で村に対する村民の
功績は、結構あるだろうと
思いますが、表彰するとな
ると式典の開催を考えなけ
ればならないと思うので今
後については、提案として
検討させていただきたいと
思います。

議員

毎年のように雪が
多く、寒さも厳し
く燃料の高騰により家計に
大きな負担を余儀なくされ
ている現状です。
村としても一人暮らし老人
家庭等に対して灯油購入費
の助成が決まり喜ばしいこ
とと思えます。

村長

村のこの度の助成
は、山形県の実施
と同様、原油価格が高騰し
たことに伴い、高齢者や身
障者などの生活がさらに困
窮しないようにと暖房費購
入に対して支援したきたと
ころであります。
今後についても他の物資や

議員

県の制度や政策の
動きに合わせて考
えではなく、村として独自
の助成制度を築いてほしい
と思つていますので是非検討を
お願いしたい。

村長

財政的な裏づけを
検討しながら継続
できるかを見極めながら灯
油に関しても変動があると
思つたのでその都度対応して
まいります。

一般質問



村政に問う

就職支援について

議員

村内には会社も少なく、通勤の問題でなかなか就職できずに困っているというのが現状です。

て奨励金を交付する制度が設けられたようです。鮭川村においても同様の制度を設け、就職を支援していくべきであるし、雇用の場を確保してこそ安定した生活が送れると思うが考えを聞きたい。

村長

村の企業誘致条例に基づき、新たな企業設立や規模拡張等の目的で施設や設備等を整備した場合に、その規模や雇用従業員数など奨励金該当企業としての指定を受けるための条件はありますが、事業用地取得奨励金をはじめ雇用奨励金の交付など、支援策を実施することとしています。

誘致支援策として新規企業が従業員を雇用した場合に雇用者の住所地である市町村が奨励金を交付することとを具体化しているところで、依然として中小企業の経営環境は厳しく、本村に今ある企業の経営規模拡張あるいは村内への新規企業に対して側面から支援していくことで本村に雇用の場を生み出し、定着を促し、地域を元気にしていきたいと考えています。

議員

奨励金該当企業としての指定を受けるための一定の条件とは何か。本村に在住する企業への支援と言うことですが、全ての企業又は商業法人にも該当させるべきかと思いがいかなるものか。

村長

条件については、工業の場合、投資額が1,000万以上で新規雇用が10人以上といった条件となります。基本的には、今の段階では新庄福田山工業団地への立地した企業が雇用する場合に奨励金を考えておりますが今後は、最上郡内に企業



立地した場合にその企業から雇用される場合も奨励金を考えていく必要があると思っております。あくまでも最上郡内に企業が立地した場合に支援していく考えでありますので、村内にある農事法人とか商業法人というものには該当しないという事です。

消費税増税に伴う物価上昇や高齢者低所得世帯に対する経済支援について



土田 太 議員

議員

4月からの消費税増税、70歳を超えの方々の医療費負担の増、介護保険料の増など我々を取り巻く生活環境は、ますます苦しくなるばかりであります。特に体調が悪く仕事のできない65歳以上の年金受給者などはかなり生活が圧迫されます。

この厳しい情勢の中、低年金所得者に対し支援する考えはないのか。合せて今後の村の人口に占める高齢者の割合のシミュレーションとその対策をどう考えているのか。

村長

この度の消費税増税に対応して国に税については、臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金など低所得者対策として負担軽減策を予定しているようであります。本村においては、この度の消費税増税に対し、水道料や保育料などの各種使用料や利用料、手数料の料金を改定を行わないこととし、更なる経費支出の縮減に努め、住民の負担増を少しでも回避するよう配慮したところでです。今後の支援についても特に低所得者世帯を中心とした支援について、国・県等への要望活動を行う一方、地域の情報収集に努め判断させていただきます。



また、高齢者人口の将来のシミュレーションとその対策であります。第2次鮭川村総合発展計画策定時(平成23年)において、平成22年の人口4,862人、高齢化率30.8%から10年後の平成32年の人口を3,705人、高齢化率を37.0%としており、人口減少率は、16.6%から23.8%に、高齢化上昇率も4.2%から6.2%と加速的に進んでいくものと見込まれていますが、総合発展計画では、今後の定住対策等を講ずることで平成32年の人口目標を、4,000人と設定しています。

一般質問



村政に問う

健康でいきいき100歳の 長寿命社会を目指して

議員

「健康で100歳まで生きよう」を
目指すには、現在の健康診
断や人間ドッグで十分管理
できているのか。
また、健康診断の受診率や

診断内容で健康を維持する
のに十分なのか。
重大な発症を未然に防ぐた
めにも区切りある年齢ごと
の受診に助成するなど予算
を確保すべきでないか。

村長

村民の健診等での
受診状況等につい
て個別の「住民カルテ」に
逐次積み上げ生活習慣病予
防対策などの健康指導に活
用しています。
健診の受診率は、大きな変
化はありませんが引き続き
未受診者への呼びかけと日
曜健診も視野に検討してい
きます。
現在の健診や人間ドッグで
全てをクリアすることは難
しいことであると思いますので

「自分の健康は自分で守る」
という意識啓発と健診後の
フォローが大切と考えます。
また、区切りある年齢ごと
の健診については、41歳
の厄年無料検診や年齢を定
めて「がん検診」「肝炎ウ
イルス検査」「骨密度検査」
など無料クーポンの支援、
平成26年度からは人間ドッ
グに「ピロリ菌」の検査を
追加して対応していきます。

議員

村の人口減少はま
すます悪化し出生
率の低い状態が続いている
が、出生率を上げることが
村にとって最も重要なこと
と思います。

居住環境を整備し、雪に強
い・住みたくなる村づくり
を早急に進めるべきと考え
るがどう考えているのか。

村長

居住環境の整備促
進については、第
2次村総合発展計画におい
て基本目標を掲げておりま
すが、若者定住促進、住み
慣れた地域で暮らせる住ま
いづくり、安心・安全で暮
らせる住宅環境整備を進め
ていくことが不可欠である
と考えます。
子育て対策も含めた住環境
団地整備については、旧大
豊小学校跡地に計画し、平
成27年度着手を考えていま

す。子育て環境の整備につ
いては、多くの課題もあり、
医療、保険、福祉の連携だ
けでなく住環境、就労対策
など村全体で取り組まなけ
ればならないと考えますの
で今後「子育て検討会(仮
称)」等で幅広い議論と対
策を積極的に進めていきま
す。

子育て支援、居住環境住宅団地の 拡充について

地域おこし協力隊の今後について



丸山重幸 議員

議員

村では、地域おこ
し協力隊を公募し
3名を採用してから2年半
ほど経過しようとしていま
す。
3名とも3年間の期間満了
前に職を辞するという声を
聞いています。
都市部の住民を受け入れて
地域おこしや地域活性化を
目指し、地域力の維持・強

化につながっているのかど
うか疑問でならない。
今後の地域協力隊の公募を
含めてどのように考えてい
るのか。

村長

地域おこし協力隊
は、総務省の「地
域力創造プラン」の中に定
められているもので三大都
市圏及び都市地域から山村
地域、過疎地域等に3年を
限度に地域で生活し農林漁
業の応援など地域協力活動
を行って定住・定着につな
げていくことを目指してい
ます。
財政的支援も一人あたり
350万円が措置され、村
では、平成23年度から取り
組みを始めました。
活動は、協力隊3名の得意
な分野を生かし、村内各地
区での活動、漁協、食生活
改善推進協議会での活動、
村のパンフレット・ポスタ
ー作成情報誌「鮭川旅情」

の作成、パソコン教室、ホ
ームページ作成などを取り
組んでもらいました。
任期満了前に3名とも地域
おこし協力隊を辞めること
とはなりますが、1名の方
は鮭川村に残り、2名の方
についても鮭川村の活動に
協力していただけるよう
あります。
今後につきましては、協力
隊の行動内容がある程度特
化し、地域の祭りの再興の
手助けとなる行動、観光振
興に係る活動、農産加工・
特産品開発・販売に係る行
動などに取り組んでもらう
考えであります。
新たな公募は、昨年12月よ
り行っているところであり
ます。



総務・文教常任委員会

村内学校教育の実態調査

実施日：平成26年2月12日

最初に鮭川中学校を訪問し、学校運営と課題等について状況を調査しました。学校全体が落ち着いた雰囲気、「いじめ」は無いが生徒同士の人間関係でのトラブルや学校不適応傾向の生徒が数人見受けられるという点でありましたが、現在は改善傾向にあり解消に努めていくとのことでありました。

課題としては、学業面で全国学力調査において数学、英語での応用問題に弱点が見受けられたこと、生活面では、インターネットやスマホの普及により、家庭での基本的な生活習慣の確立ができていないとのことでありました。

この日は、授業を参観して、

最初に鮭川小学校を訪問し、各学年とも熱心に授業に取り組んでいましたし、教職員の学力・部活動における生徒指導にも熱意が感じられました。

次に鮭川小学校を訪問し、同じく学校運営と課題等について状況を調査しました。統合による問題も無く、今年には特に地域と連携した学校教育を目指し荒川区や神室産業高校との交流授業に意欲的に取り組んでいました。

「家での本を読む習慣づくり：家での規則正しい生活」が課題として挙げられるという点でありました。

小学校においても授業を参観してきましたが、児童一人ひとりが生き生きと学習



鮭川中学校の学校運営等調査

に取り組み教諭の質問に元気に手を挙げて授業を受ける場面を見ることができました。

スクールバスでの登下校も順調に行われておりましたが、歩くことが少なくなり体力不足が懸念されるところであることから学校では、運動不足を解消するため体を動かす時間を作るなど



鮭川小学校の授業参観

力増進にも取り組んでいました。

家庭においても外で遊ばせるなどの体力向上に向けた後押しが大切と感じてきました。

小・中学校とも児童・生徒・保護者のつながりを大事にし、子供たちの健やかな成長に努めていることが伺われました。

産業・厚生常任委員会

村内の道路状況及び高齢者宅除雪支援状況調査

実施日：平成26年2月13日

今年度も昨年引き続き、平成26年1月14日付けで村の豪雪対策本部が設置されており、2月12日現在の村の積雪量は、曲川地区で163cm、役場裏で147cmであった。

積雪量としては昨年と大きな差は無いということであり、除雪経費の執行状況は、約6割ということでありました。

村内の道路状況については、概ね幅員も確保されており良好な除雪状況であることを確認しました。

この日は、雪崩危険箇所とされる2箇所でセッピ除去作業の様子を視察してきましたが、今年度の雪崩発生件数は、14件（村道4件、県道6件）との報告を受け



空き家積雪状況調査

たところですが、

また、高齢者等宅の除雪支援状況については、本村地区と下芦沢地区の2箇所を視察しましたが大変きれいに除雪されており安心してきました。

ただ、空き家について、雪の重さで窓ガラスが割れたり、屋根に大量の雪が積もった状態であったりしていつ潰れてもおかしくない状況のところもあり、春の雪解け時期が心配される



雪崩危険箇所調査

状況であると感じてきたところでもあります。

2月中旬でもあり、まだまだ除雪作業は続くものとみられ、今後も引き続き住民の期待に応え、安全な交通確保に努めるよう要望したところでもあります。

請願（継続審査）

労働者保護ルール改悪反対を求める請願

要旨
政府内で議論されている解雇の金銭解決制度や限定正社員の普及などは労働者保護ルール改悪に繋がるとして反対要請されたもの

陳情（採択）

要支援者への予防給付を市町村事業とすることについて反対する陳情

要旨
要支援者を介護保険制度の給付対象からはずすことや一定以上所得者の利用者負担の2割への引き上げについて反対を要請されたもの。

《意見書として提出》

提出先
内閣総理大臣
厚生労働大臣
衆・参両議院議長

議会の動き

1月

- 15日 村議会広報調査特別委員会
- 19日 村新春のつどい
- 30日 村議会全員協議会

2月

- 4日 最上県勢懇話会
- 10日 伊奈町議会視察来庁
- 12日 村総務・文教常任委員会所管事務調査
- 13日 村産業・厚生常任委員会所管事務調査
県町村監査委員・事務局長研修会
- 17日 県町村議会議長会定期総会
- 19日 村議会全員協議会
村議会運営委員会
最上地区広域連合予算内示
- 24日 例月出納監査
- 25日 最上広域市町村圏事務組合予算説明会
- 26日 村予算内示会
正・副議長・各委員長合同会議
- 27日～28日 最上地区議長・副議長合同会議

3月

- 3日 村議会運営委員会
最上地区広域連合議会定例会
- 4日 村議会全員協議会
- 7日～13日 村議会3月定例会
- 16日 鮭川中学校卒業式
- 18日 鮭川小学校卒業式
- 20日 最上地区広域連合議会運営委員会
- 24日 例月出納監査
- 25日 最上広域市町村圏事務組合議会3月定例会
鮭川保育所・こまどり保育所卒園式

議会推薦の 農業委員に丸山議員を再任



鮭川村農業委員会委員の任期満了に伴う、議会の推薦の農業委員に全員一致で丸山重幸議員を再推薦することに決定した。新たな任期は、平成26年4月14日から平成29年4月13日までとなります。



長かった冬、毎年の豪雪を乗り越え、ようやく春の兆しを感じる様になり、皆様も一安心しているところではないでしょうか。

平成26年3月議会を終えて、財政が厳しい中でも村民が安心安全に暮らせるよう予算の審査を行い、4月からスタートしました。

今年度から、国の農業政

策も大幅に変わり農家にとっても不安な年でもあると思いますが、議会も一丸となって農・商・工業の所得向上のために一生懸命邁進していく所存であります。

今年6月14日から9月13日にかけて山形デステイネーションキャンペーンが開催されます。

この事業は、本県を訪れるお客様や県民の皆さんが「山形日和」おもてなし運

動で山形の自然の美しさや食の楽しさなど、様々な形で楽しんでいただけるよう県民総参加で取り組むものです。

山形が元気に、最上が元気に、そして鮭川村がさらに元気になるように、皆さんの協力と積極的な参加をお願いします。

これから雪解けとともに農繁期を迎えます。

農作業される場合は、健康面や事故等に十分気を付けて行ってください。

皆様方の益々のご健勝を祈念してあとがきとします。

(文・水戸一徳)

議会広報調査特別委員会

- 委員長 矢口 健二
- 副委員長 荒木三智郎
- 委員 土田 太
- 委員 水戸 一徳
- 委員 丸山 重幸
- 委員 遠田 伯保